

わおん 通信



2015
秋号
vol.18



特集

2℃未満へ世界合意に向けて

「COP21 パリ会議目前」



CONTENTS

P2 - P3

県内地域の取り組み

家庭の「節電係」を子どもたちに
教育現場へのプレゼンテーション
打ち上げ前の“汗かき発電”

第4回 推進員マッちゃんの
あ~したら、こ~なった!

P4 - P5

2℃未満へ世界合意に向けて
[COP21 パリ会議目前]

P6 県情報

川の汚れを調べてみよう! 水生生物調査

P7

推進員さん訪問記^⑭
なるほど ザ・ワード

P8

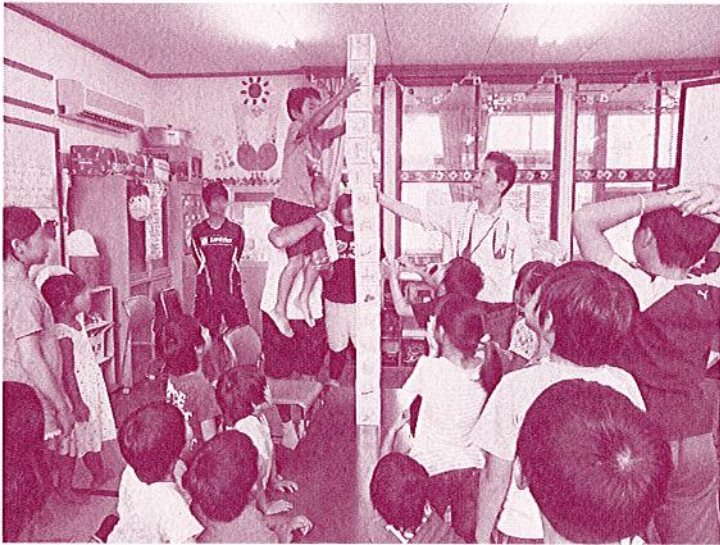
INFORMATION

家庭の「節電係」を 子どもたちに

2015年8月17日
「夏休み子どもエネルギー教室」

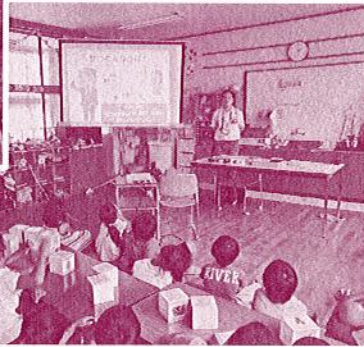
[推進員 黒井 成男(伊都・橋本地球温暖化対策協議会)]

夏休み期間中、小学生たちの受け入れをしている学童保育、かつらぎ町笠田の保育所において、「エネルギー教室」が開催され、23名が勉強しました。まずは、〇〇(まるまる)BOXを使い、「こんなエコ(環境)マーク知ってる?」や「エネルギーはどこから来ているの?」としてエネルギーの流れに沿ってタワーを積み上げていきます。また「温暖化とエネルギーの話」の紙芝居では、温暖化や再生可能エネルギーの話、節電の必要



性等を勉強しました。そして、屋外では「ソーラークッカー」を使った太陽熱の利用方法なども伝え、子供たちは興味深くエネルギーについて学ぶことができたようです。

このエネルギー教室は夏休み期間中、海南市で4箇所、かつらぎ町で2箇所、九度山町、橋本市で各1箇所の計8箇所で開催され、各地域の推進員が講師として活躍しました。



各推進員の皆さん、各地域で実施される行事に積極的に参加し、地球温暖化防止の輪を広げていきましょう。

教育現場への プレゼンテーション

2015年8月25日
「県・共育支援メニューフェア」

[推進員 多田 祐之(紀南地域地球温暖化対策協議会 代表)]
和歌山県立情報交流センター Big・U

今年度で3回目の開催となる県・共育支援メニューフェアは県の教育委員会主催の教育関係者向けのイベントです。県の温暖化防止活動のPRの機会として2回目の参加となります。この日は、あいくの空模様でしたが、電力、運送、リサイクル関連の企業、自然保護団体、ダンスサークル、県・環境生活総務課など38の団体が出展しバラエティに富んだ催しとなりました。私たちのブースは「エネルギーと温暖化についての出前



授業」のパッケージを提案するものでしたが、訪れた方は興味をもって説明を聞いていました。そして、その場で授業依頼が決まり、後日訪問の予定となりました。この日は、紀北・橋本からの方が多く、環境への取り組みへの関心の高さが伺えました。そんな中、新宮からの方にも興味を持っていただき、遠方の出前が可能かどうか問い合わせの場面もありました。今後、紀中や紀南の推進員も出前授業に備え講師養成を積極的に行いたいと感じました。

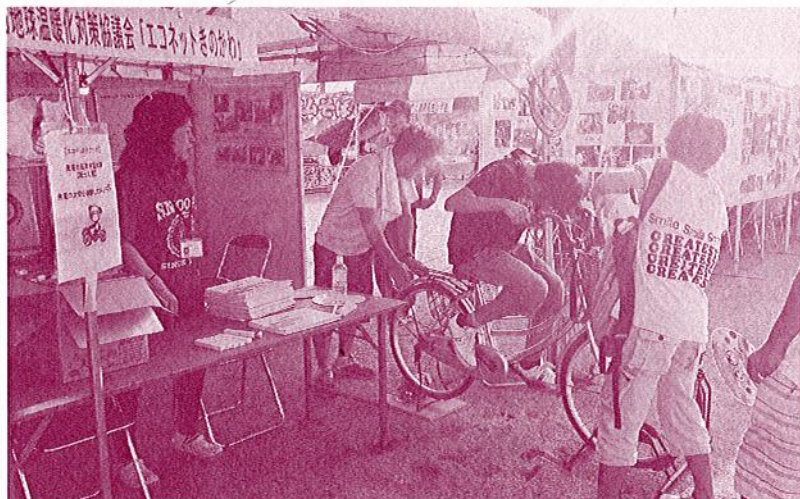
紀の川市の活性化につながるイベントに今年も参加しました。今年は10年目ということもあり、ファイナーレの打ち上げ花火も尺玉が用意され、たくさんのお客様で賑わいました。当協議会恒例の人力発電自転車も、中学生、高校生などの子どもたちが大勢チャレンジし、必死でペダルをこいでいました。参加した女性

打ち上げ前の “汗かき発電”

2015年8月23日
「紀の川市民まつり」

[紀の川市地球温暖化対策協議会]

は「100ワットの電気くらいと思っていました。作ることがこんなにも大変だとは思いませんでした」と汗を拭いながら爽やかにコメントしていました。楽しい雰囲気の中でも体感しながら、エネルギーの大切さを伝えられる機会としたいと感じました。



第4回 推進員
マツちゃんの

あ～したら、こ～なった!

岩出市は「地球温暖化対策条例」を2008年から施行しています。これは推進員である尾和弘一議員が議員提案したもので、条例案作成には私も参加させて頂きました。

条例施行後、生活環境課が動き始めます。まずは市長名で区長と自治会長300名あまりに集合をかけて、温暖化対策の講演会を行いました(新型インフルエンザの流行で実際には約100名が参加)。講師は私が勤め、慣れないパワーポイントも使いましたが反応は今一でした。が、控室に戻ってから課長が「こりゃ、えらいこっちゃがな。息子にも今晚話さなあかん!」と言ってくれました。その後、生活環境課では市役所職員全員に対して講演会を行います(2回に分けて。講師は県職員が担当)。また市内に回覧板を回して4地区の公民館で、課長自らが講師となって講演会を実施しました(この他、小さなものは多数あり)。

さて岩出市の温暖化対策地域推進計画では私も意見を求められました。私は橋本市の成功事例から“可燃ゴミ回収の回数削減”または“可燃ゴミ回収の有料化”を提案しました。もちろん採用とはなりませんでした。その後、海南市が可燃ゴミ有料化で10%のゴミ削減に成功したことから岩出市でも2012年から実施(可燃ゴミ1ℓに対して1円徴収)。何と家庭ゴミでは年間で13%を削減、そして事業所が増えたにも拘らず、全体では8%の削減となりました。つまり、岩出市クリーンセンターの煙突から出るCO₂が8%減ったのです。

このコーナーでは推進員の方々のCO₂削減活動を募集しています。ぜひ、「私はこんな活動をしました」という声をお寄せください。

けて
目前]

さらい

2013年度比で26%
26%減という数値は、
1990年比に換算
、例えばEUの目標
、米国の「2025年に
1年までに国内総生産
65%削減」と比べて
内外のメディアから聞

削減を達成できてい
見模な風力発電所ラッ
中国の「GDP当たり」
ばす方針で、世界トッ
中国がCO2を削減「し
の国民一人当たりの
ツ国民の9.0%や日本



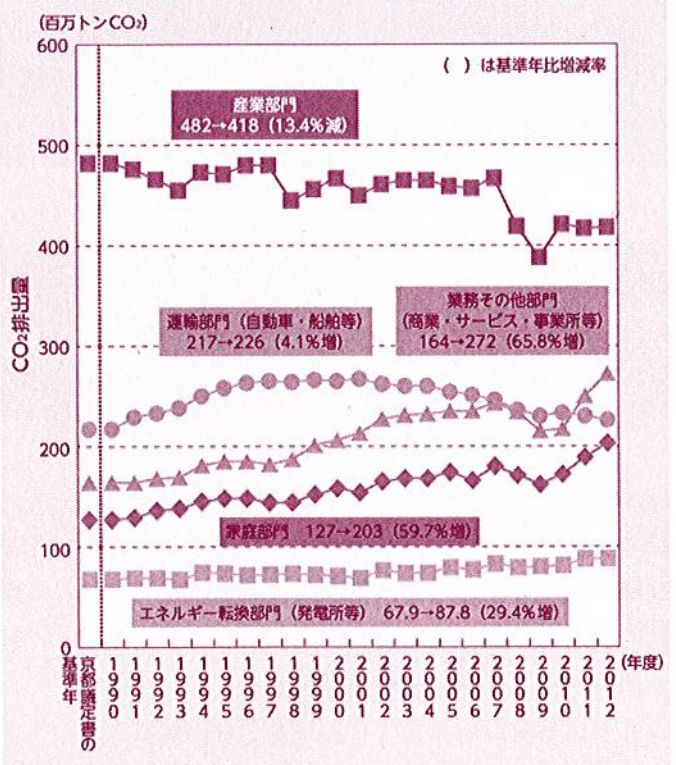
CO₂ 排出 59.7%増の家庭部門、 私たち県民はどうすればいいのか？

日本においてCO₂排出が増えた分野は、2011年以降の原発の稼働停止で火力発電からのCO₂排出が一時的に増えたエネルギー部門を除くと、「家庭部門」と「業務その他部門」に集中しています。2012年度における家庭からの排出量は1990年比で59.7%もCO₂が増加しています。「業務その他部門」では、観光業、サービス業、小売業からの排出が増えています。これらは、いずれも、和歌山県内で地域創生の切り札として期待されているものばかりです。これまでと同じ方法で振興させると、CO₂排出を大幅に増やす危険性があります。

CO₂の削減に一定の成果を示している製造業や運輸業はすでにギリギリまで削減しており、今後の目覚ましい削減は期待できないでしょう。今こそ、個人の取り組みが重要です。大枠では、3Rの実行で実現できます。省エネはじめムダ使いしないことです。地産地消を進めることです。ご自身での直接貢献が難しい場面でも、例えば、同じ買うなら環境貢献商品を買うことだけでもCO₂削減に貢献できます。農産物の購入でも、有機農業など環境保全型農産物を地産地消することの貢献度は高いものです。しかも、安全で美味しい。ご当地エネルギーなどでエネルギー部門での低炭素化を個人や市民出資型で小規模に行う事業に出資してもよいですね。

私たち個人の力はけっして小さくありません。温暖化対策は、貧しさを強いるものではなく、むしろ、新時代の豊かさの形だと受け止めることもできます。新しいビジネスチャンスにもなります。だからこそ、今、県民の発想の転換と奮起が期待されているのです。

図1-1-4 部門別エネルギー起源二酸化炭素排出量の推移



二酸化炭素の排出削減を事業所から

「わかやまエコ企業支援コンソーシアム」

(環境省補助事業)

受診事業所募集開始!

受付：第1期間 9月1日～10月31日
第2期間 11月1日～11月30日

県内の事業所を対象とした無料診断を実施します。申込み、設備の詳細な診断から補助金の紹介まで、企業向け省エネ診断の専門家による一貫したサポートを行います。詳しくはwebサイトを参照、もしくは県センターまでお問い合わせください。

<http://wenet.info/>

2℃未満へ 世界合意に向

[COP21 パリ会議]

地球温暖化防止締約国会議の

温暖化 COP の歴史

温暖化防止というと COP という文字を良く目にします。C が付くから炭素 (Carbon) に絡んだ何かだと思っている人も少なくないようですが、Conference of Parties の略で、締約国会議という意味です。だから、温暖化のことだけではなく、例えば生物多様性に関わる締約国会議などでも COP が使われます。

第1回目の温暖化 COP1 は 1995 年にドイツのベルリンで行われました。最初の頃の重要なポイントは、1997 年の京都での COP3 において、温室効果ガスの削減目標を定めた「京都議定書」と、柔軟性措置 (京都メカニズム) として共同実施 (JI)、クリーン開発メカニズム (CDM)、排出取引 (ET) の 3 つを採用することを決定したことでした。

その後、日本も含め CO₂ 削減に対して消極的だと批判される先進国の多出、先進国と途上国間での責任の適正な配分、技術や経済支援などでの調整は未だ終わっていません。しかし現在までに、気温上昇 2℃以内、2050 年までの世界全体の CO₂ 排出量を 50% 削減、先進国全体の排出量を 80% 削減の目標が合意され、各国の具体的なロードマップを決めようというのが、今年パリで開催される COP21 です。

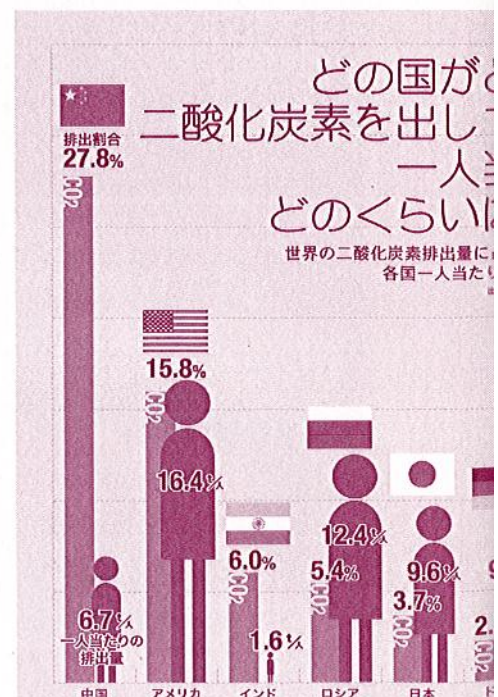


【地球温暖化防止京都会議 COP3】

日本の CO₂ 削減目標は

日本は COP21 に向けて「2030 年度までの CO₂ 削減」という方針を打ち立てました。大きな目標に映りますが、京都議定書の基準だと 18%削減に止まります。これは他「2030 年までに 1990 年比 40%以上削減 2005 年比 26 ~ 28%削減」、中国の「2030 (GDP) 当たりの排出量を 2005 年比 60%削減」物足りないレベルだとの批判が、すでに聞こえ始めています。

EU では積極的に対策を進め、すでに 20%削減しています。米国もここ数年は順調。中国でも、ナシユが西部の草原エリアで起こっていますという話ですが、中国はこの先も GDP を伸ばすの 27.8% (2012 年) の CO₂ 排出国である「削減しない」可能性は残ります。ただし、中国の CO₂ 排出量は環境先進国であるはずのドイツの 9.6%よりも少ない 6.7%です。



気候をまもる、パリへの行進!

アースパレード2015【京都】

日時 2015年 11月29日(日) 13:00~

会場 円山公園音楽堂 [京都市東山区]

川の汚れを調べてみよう！ 水生生物調査

1 全国水生生物調査とは

河川に生息するサワガニ、カワゲラ類等の水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、それらの水生生物を指標として水質を判定することができます。このような調査は、一般の人にもわかりやすく、高価な機材等を要しないことから誰でも簡単に参加できるという利点があります。また、調査を通じて身近な自然に接することにより、環境問題への関心を高める良い機会となるため、環境省と国土交通省では、昭和59年度から全国水生生物調査を実施しています。

2 水質の判定

29種の生き物が指標生物として選ばれています。これらの生き物の種類と数から、川の水のよごれの程度が4つのレベルのどの段階なのかがわかります。

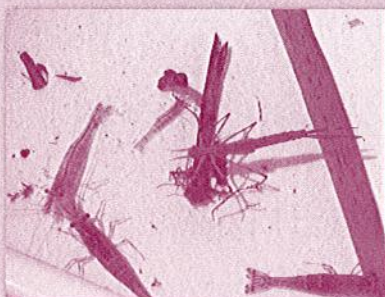
水質階級	水の「きれいさ」	指標生物
I	きれいな水	カワゲラ類、ヒラタカゲロウ類、ナガレトビケラ類、ヤマトビケラ類、アミカ類、ヨコエビ類、ヘビトンボ、ブユ類、サワガニ、ナミウズムシ
II	ややきれいな水	コガタシマトビケラ類、オオシマトビケラ、ヒラタドROMシ類、ゲンジボタル、コオニヤンマ、カワナナ類、ヤマトシジミ、イシマキガイ
III	きたない水	ミスカマキリ、ミズムシ、タニシ類、シマイシビル、ニホンドロソコエビ、イソコツブムシ類
IV	とてもきたない水	ユスリカ類、チョウバエ類、アメリカザリガニ、エラミミズ、サカマキガイ

3 和歌山県では

6月10日から9月30日まで、環境生活総務課が窓口となり、県内に居住または勤務されている方の参加を募集しています。お申込み頂いた方には、調査のパンフレット、下敷き、ピンセット、ルーペ等を送付しています。期間が残り少なくなりましたが、興味のある方は、ご参加ください。

水生生物調査は、県内の大きな川から田んぼの脇の水路まで、どんな川でも調べることができます。違う川、同じ川の上流と下流など、複数の場所を調査してみてください。場所によって、すんでいる生き物が違うことがわかり、川をより深く知ることができます。

調査結果は、①インターネットで全国水生生物調査に報告、②集計用紙で県に報告、いずれかで報告していただくと、環境省の全国水生生物調査のページ (<https://www2.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/>) で、全国の調査結果をみることができます。また、県内の調査結果は県HP (<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/suiseiseibutu/index.html>) でも公表します。



推進員^{ひょうこ}さん^{〇〇}訪問記^⑭

その仕事＝温暖化防止！

岩出市 吉川 栄一 さん



第2期の吉川栄一さんは生まれも育ちも自然豊かな旧打田町（現紀の川市）です。県外の大学を卒業後、兵庫県東塚市のホテルに就職し晴れてあこがれだったホテルマンになれたものの、そのホテルは4年にして倒産。やむを得ず1年後に帰郷し、ハローワークで見つけた「エコトップ(株)」に入社して、これまで太陽光発電や住宅関連機器の営業に従事してきました。

推進員養成講座の受講は、社長さんが社員に対し「誰か推進員にならないか？」と持ちかけたことがきっかけ。とはいえ、もともと「環境保全に貢献したい」「温暖化について学んでみたい」という思いはありましたから、それが仕事に活かせるのであればなおさらのことでした。

推進員を委嘱されてからの活動では、「和歌山駅前での啓発や、環境イベントへのブース出展に参加する機会が多かった」とのこと。またいまは、所属する“ストップ温暖化岩出の会”からの誘いを受けて「年に数回程度、イベントや会議等に参加していますが、最近では仕事が忙しいので時間が取れないことも多々ある」のが悩ましいところだ。

とはいえ、吉川さんは本業が太陽光発電など自然エネルギーの普及。太陽光発電の販売実績は11年間で約300軒、計1000kw以上になります。「営業マンとして特に多いわけでもない」とのことですが、メガソーラー発電所1基分に匹敵する普及量です。

ただ「太陽光発電の経済的メリット」で敏感に反応してくれるお客さんも、地球温暖化対策という話題での反応はいまひとつ。「太陽光という無限大の自然の恵みの利用になぜもっと積極的になれないのか？」「まだ太陽光発電のことを知らない人に正しい話を一度は聞いてほしい」と、物足りなさも感じています。

それだけに、太陽光発電を設置したお客さんから「電気代が下がった」に加え「温暖化防止に貢献できた」という声を聞くとたまらなく嬉しくなります。そんなお客さん相手に推進員であることを話すと、「温暖化の話で盛り上がるのがよくある」とのことです。

吉川さんが大切にするのは“信頼”。「高すぎるわけでも安すぎるわけでもなく、適正な価格で良い商品を提供し、アフターサービスも細やかにこなす地元業者としてお客さんに信頼される営業マンでありたい」。そしてこれからは家庭だけでなく、地域全体に太陽光発電など自然エネルギーを広げてゆきたいと思うのです。

吉川さんは自宅にも太陽光発電を設置して、3人の子どもたちに環境に貢献することや電気の大切さを教え、また「昔はこんなに暑くなかった」と気候変動の話もしています。地球温暖化を克服し、子どもたちに自分がかつて親しんだ豊かな自然を引き継ぎたい。その思いが、仕事もそして推進員としての活動も、しっかり支えているようにお見受けしました。

なるほどザ・ワード

STOP温暖化・焦点の言葉 ⑭

*地球温暖化をめぐる報道などで、いま焦点となっている言葉を簡単に解説します

地球温暖化懐疑論

化石燃料の燃焼や森林破壊など、人為的な要因から大気中の二酸化炭素やメタンなど温室効果ガスの濃度が上昇したことにより、地球全体の気温が上昇を続けているというのが地球温暖化論の基本的な考え方ですが、これに反対する意見を総じて地球温暖化懐疑論と呼んでいます。

地球温暖化懐疑論には、温暖化現象そのものを否定するもの、温暖化現象自体は認めるがその原因は人為以外にあるとするものなど多くの種類があり、またその意見の質も一応は科学的な主張の体裁をとるものから陰謀論に至るまで多彩ですが、いずれも現在世界で取り組まれる地球温暖化対策を否定する点は共通しています。

気象は非常に複雑な要因がからむ現象であるため、現時点で100%正確に将来を予測できるわけではあり

ません。そこに懐疑論が一定の影響を持つ余地があり、また、売らんかなのメディアは、まじめな地球温暖化論より、意外性のある懐疑論を面白おかしく流しがちですが、実際にはそのほとんどの論点が科学的に論破されています。⇒（「地球温暖化懐疑論批判」（2009年刊）参照、インターネットで読めます。）

加えて「気候変動に関する国連枠組条約」は、「深刻な又は回復不可能な損害のおそれがある場合には、科学的な確実性が十分でないことをもって、このような予防措置をとることを延期する理由とすべきではない」として、加盟国が地球温暖化対策に積極的に取り組むよう求めています。これは、対策をためらっている間に取り返しがつかない事態に陥ってしまったら大変ですから、ともかく最悪の事態を想定し備えておこうという態度で「予防原則」と呼ばれ、人類が多くの失敗を経て学んだ政治の知恵です。懐疑論がどうあれ、いま地球温暖化対策を怠る理由にはなりません。

イベント案内

●わかやま「節電所」建設プロジェクト2015

※切迫る
10月31日(土)

7月からスタートしております節電の取り組みの応募切が10月末までとなっております。ぜひ、配布先への声かけをお願いいたします。

- 送り先 わかやま「節電所」建設プロジェクト 事務局 (わかやま環境ネットワーク内)
- FAX (073) 499-4735

●『土づくりからの未来づくりフォーラム・和歌山』

日時 2015年 10月4日(日) 13:00~16:30

場所 ホール田園 [紀の川市西大井 338]
(紀の川市役所南側別館)

- 定員：300名
- 講演会お申し込み
住所・氏名・連絡先・人数 記入の上
FAX 0736-63-5522
(土づくりからの未来づくり実行委員会)(有)銀徳内
- お問合せ
090-6904-4039 (市野)
090-3261-1743 (山田)

【省エネ促進/啓発活動】
秋のイベント・ブース出展情報

各種イベントに出展します。当日参加者募集中!

●「第29回弁慶まつり TANABE 観光物産マーケット」

日時 2015年 10月10日(土) 10:00~15:30
場所 扇ヶ浜カッパーク内 [田辺市扇ヶ浜] (田辺市役所南・裁判所前交差点)

●「くるまジャンボリー」

日時 2015年 10月18日(日) 10:00~15:00
場所 近畿運輸局和歌山運輸支局 [和歌山市湊 1106-4] (南海電鉄和歌山港駅東)

●「ふれあい人権フェスタ 2015」

日時 2015年 11月14日(土) 10:00~16:00
場所 和歌山ビッグホエール [和歌山市手平 2-1-1]

●「市民 ZOO フェスティバル〜祝 100 周年〜」

日時 2015年 11月15日(日) 11:00~15:00
場所 和歌山公園動物園 [和歌山市一番丁 3] (和歌山城内)

●『第4回小水力発電を訪ねる旅
〜三重・和歌山・奈良の小水力を巡る〜』

江戸時代につくられた「立梅用水路」という農業用水路を利用した発電所、新宮市と下北山村が管理運営する2つの発電所、那智勝浦の小さな地区で実験中のピコ発電、そして35万kWの揚水発電所とバラエティ豊かなコースです。



- 旅行代金：25,000円 (1泊2日、食事4回含む)
- 出発日：2015年10月17日(土)~18日(日) 1泊2日
- 宿泊：高田グリーンランド(新宮市) 和室・男女別・相部屋
- 食事：夕食1回(宴会場にて)・朝食1回 ※2回の昼食も含んでおります
- 呼びかけ：関西広域小水力利用推進協議会
〒604-8211京都市中京区六角通り室町西入玉蔵町121 美濃利ビル309号
FAX: 075-371-0794 (宮本) TEL: 080-7051-5830 (里中)
E-mail: info@kansai-water.net HP http://kansai-water.net/

県センター通信

夏の日差しは日に日に遠ざかり、幾分過ごしやすくなってきましたが、入れ替わるように台風のシーズンとなってきました。今年も秋から冬にかけて、イベント盛りだくさん。とりわけ推進員のみなさまにとって絶好の活動期間となります。ぜひ、今年度の目標にプラスして、積極的な参加をお願いいたします。私たちセンターも、引き続き支援をさせていただきます。

2015 秋号 vol.18



発行/和歌山県環境生活総務課
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL: 073-441-2690 FAX: 073-433-3590
mail: e0317001@pref.wakayama.lg.jp

編集/お問合わせ/和歌山県地球温暖化防止活動推進センター
〒641-0014 和歌山市毛見996-2
TEL: 073-499-4734 FAX: 073-499-4735
mail: wenet@vaw.ne.jp